

JA 箔転写スターターキット

箔転写スターターキットについて

カッティングマシン本体で箔押しツールを使用して素材に箔をつけることで、高級感がある模様を描くことができます。

安全にお使いいただくために

⚠ 警告

窒息するおそれがあります。

- この製品には小さな部品が多く含まれるため、小さなお子様は使用しないでください。窒息などをするおそれがあるため、お子様の手の届かない場所に保管してください。

⚠ 注意

窒息またはけがをする恐れがあります。

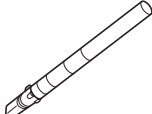
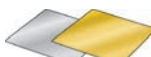
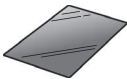
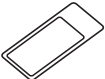
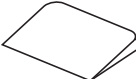
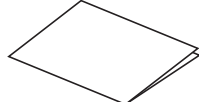
- 箔転写シートや、のりペンののりを誤って口に入れないようにご注意ください。

使用上の注意

- のりペンホルダーにのりペンと箔押しツール以外のものを入れないでください。
- 表面が滑らかな紙を使用してください。表面の凹凸が激しいもの、布などの吸水性が良いもの、表面がコーティングされているものは箔押しできません。
- 箔転写する素材は、0.5 mm 以下の厚みの紙をご使用ください。
- シリコンシートの粘着力が低下した場合、ウェットティッシュなどで軽く拭き取ってほこりや汚れを取り除いてください。拭き取った後は必ず乾燥させてください。
- シリコンシートに余分な箔が貼りつかなくなった場合は、新しいものに交換してください。
- 保護シートは折り曲げないでください。
- 保護シートが汚れたり破損した場合、うまく箔押しができなくなる可能性があります。新しいものに交換してください。
- のりペン、箔転写シート、ごみ取りシリコンシートは、直射日光や高温多湿にさらされる環境下で保管しないでください。また、のりペンを使用後は、必ずキャップを閉めてください。
- 5℃～35℃（41°F～95°F）の環境下で使用してください。
- カッティングマット 12" × 24"（305 mm × 610 mm）は使用できません。
- カッティングマシン本体の使用方法是、マシン本体の取扱説明書をご覧ください。
- この説明書の記載内容は、予告なしに変更することがあります。
- 本書に記載されている製品の画面は、実際のものと異なることがあります。

付属品

キットを開封後、付属品を確認してください。

A		B		C		D	
E		F		G		H	

名称	
A	のリペンホルダー
B	箔押しツール
C	のリペン *1
D	箔転写シート 3.9" × 7.8" (100 mm × 200 mm) (ゴールド、シルバー) *1
E	保護シート 8.6" × 12" (220 mm × 305 mm) *1
F	ぞみ取りシリコンシート 1.9" × 2.9" (50 mm × 75 mm) (ストレージシート付) *1
G	箔用 50 模様認証カード
H	ご案内

*1 これらの付属品は消耗品です。使い切った後は CAFTGP1 (箔転写スターターキット用のリペン)、CAFTSGLD1 (箔転写シート (ゴールド))、CAFTSSIL1 (箔転写シート (シルバー)) をご購入ください。保護シートについては CAEBSTS1 (テンプレートシート) をご購入ください。別売品の購入に関しては、本製品をお買い上げの販売店にお問い合わせください。

箔機能を認証する

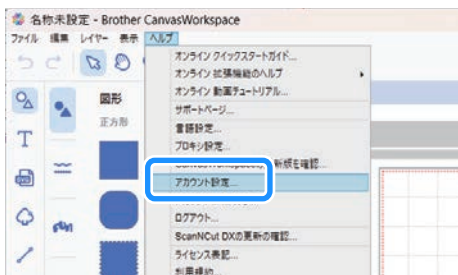
CanvasWorkspace には、すぐにお使いになれる箔用の模様が内蔵されています。
模様を本体に転送するには、事前に本体の無線 LAN およびマシン登録の設定が必要です。詳しくは、本体の取扱説明書をご覧ください。

CanvasWorkspace で箔模様を認証する

1 パソコンに CanvasWorkspace をインストールしてログインします。

- CanvasWorkspace はブラザーのサポートサイト (<https://s.brother/cuoa/>) からダウンロードすることができます。
- マシン登録の設定時に使用したアカウントと同じアカウントでログインしてください。
- アカウントをお持ちでない場合は、「サインイン」をクリックし、画面の指示に従ってアカウントを作成してください。作成したアカウントは Artspira (アートスピラ) アプリでもお使いいただけます。

2 「ヘルプ」メニューから「アカウント設定」をクリックします。



3 「拡張機能の認証」をクリックします。

4 付属のカードに記載されている認証コードを入力し、「認証」をクリックします。



- アルファベットの「O」と「I」は、認証コードでは使用していません。
- 認証コードは1つのアカウント ID に対してのみ有効です。同じ認証コードを再度使用することはできません。

5 認証確認画面が表示されますので、内容を確認し、問題なければ「認証を確定する」をクリックします。



▶ 「OK」をクリックすると認証が完了します。

箔用の模様カテゴリが CanvasWorkspace に追加されます。
CanvasWorkspace の操作方法については、CanvasWorkspace の「ヘルプ」メニューをご参照ください。

本体の箔機能を有効にする

1 設定画面にある「拡張機能」を押します。



2 「キット認証 (箔)」を「ON」にします。

- 工場出荷時は「OFF」に設定されています。

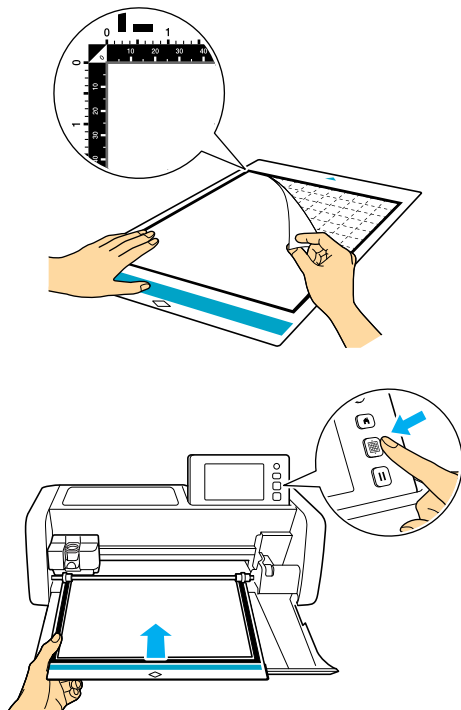


箔転写用模様を本体に呼び出して箔付けする

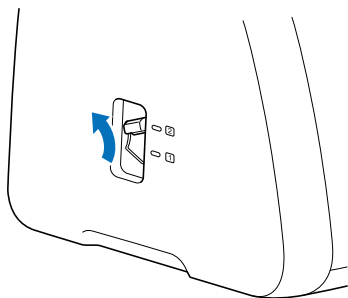
カッティングマシン本体の詳しい操作方法是マシン本体の取扱説明書をご覧ください。

1 弱粘着カッティングマットに箔付けする素材を貼りつけて、マットを挿入します。

- ・ 粘着力が強いマットは、素材をはがすときに破れるおそれがあります。
- ・ カッティングマットの貼りつけエリアからはみ出さないように貼りつけてください。



2 マシン本体左側のスキャナー昇降レバーを「2」の位置に設定します。



3 CanvasWorkspace から箔転写用の模様を転送します。

- ・ 小さすぎたり細かすぎると模様は、きれいに箔付けできない場合があります。

4 本体で模様を呼び出します。



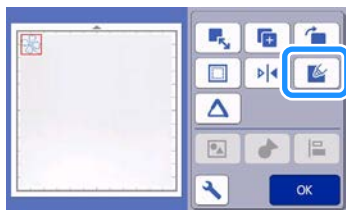
5 を押して背景スキャンします。素材および箔のサイズから模様のはみ出さないように配置してください。

- ・ 模様のサイズは箔のサイズ (3.9" × 7.8" (100 mm × 200 mm)) より小さいことを確認してください。

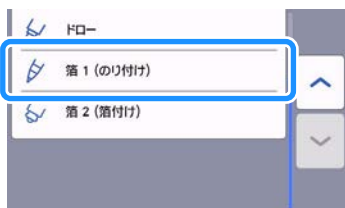
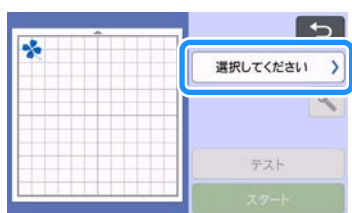


6 オブジェクト編集画面で、を押して模様を塗りつぶしの設定とのり付けのパターンを設定します。塗りつぶさない場合は、**7** へお進みください。

- ・塗りつぶしパターンは「001」を推奨します。
- ・塗りつぶしライン間隔はデフォルト値を推奨します。
- ・ラインのみでのり付けする場合は、「追加ライン」を調整してのり付けの線を太くしてください。追加ライン間隔はデフォルト値を推奨します。設定方法について詳しくは、本体の取扱説明書の「ドロー機能で模様を塗りつぶす／アウトラインを太くする」を参照してください。



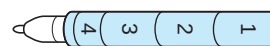
7 プレビュー画面で「箔1 (のり付け)」を選択します。



8 のりペンののりの残量を確認します。

表示された「のりペンの目盛り」確認画面で、のりの残量に合わせて目盛りを設定します。

- ・のりペンを使用する前には、かならずペン先の樹脂玉を外してから使用してください。

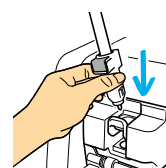
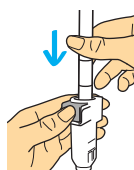


9 キーを押して、のり付け圧力を「0」に設定して、「OK」キーを押します。



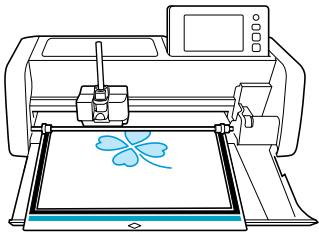
10 のりペンホルダーの金属ボタンを押して、キャップを外したのりペンを挿入します。「カチッ」と音が鳴ったらボタンを離してのりペンを固定します。のりペンが上下に動かないことを確認したら、キャリッジにのりペンホルダーを差し込みます。

- ・のりペンを挿入する際には必ず、のりペンホルダーに箔押しツールがついていないことを確認してください。
- ・取り外した箔押しツールは紛失しないようにご注意ください。
- ・手で試し書きをして、のりがきちんと出るかを確認してください。先端ののりが固まっている場合でも、試し書きをすると使用できるようになります。
- ・のりペンホルダーをキャリッジに設置したら、すみやかにのり付けを開始してください。



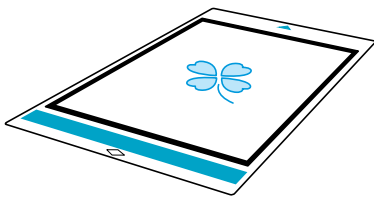
11 「スタート」キーを押してのり付けします。

- ・「のりペンの目盛り」の値が大きい場合、動作が遅くなり、動作音が通常と異なったり大きくなったりすることがあります。
- ・のり付け中は一時停止したり、のり残量等の設定を変更したりしないでください。線の太さが変わるおそれがあります。
- ・のり付け圧力が強すぎると、紙が破れるおそれがあります。薄い紙を使用する場合は圧力を弱くしてください。



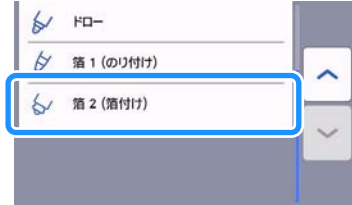
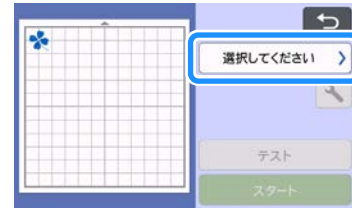
12 のり付けが完了したら、本体からマットを排出してのりを乾燥させます。のりが乾いていない状態ではきれいに箔付けができません。

- ・本体の電源を切ったり、液晶画面上の模様を動かさないでください。箔付けの位置がずれるおそれがあります。
- ・のりの乾燥の確認は、のり付けをしてからの経過時間が目安となります。おおよその乾燥時間は表を参照してください。のり付け量が多かったり、湿度が高い環境では乾燥時間が表記されている時間よりも長くなる場合があります。
- ・のり面を触らないでください。粘着力が落ちて箔がつかなくなるおそれがあります。
- ・のりがついていないときは、のり付け画面の  を押して「のり付け圧力」を調整してください。
- ・素材によって適したのり付け圧力は異なります。
- ・のり付け後はホルダーからペンを外して、キャップを閉めてください。



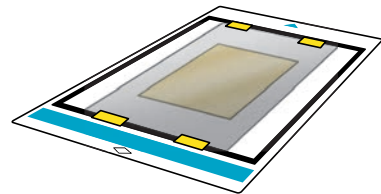
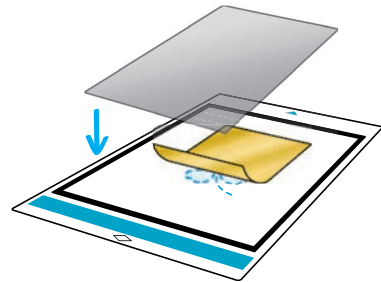
	線模様	5分以上
	塗りつぶし模様	20分以上

13 「箔2(箔付け)」を選択します。

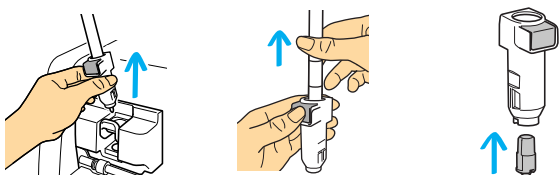


14 画面の指示に従ってのり付けされた模様の上に箔を置きます。保護シートをマット全体に置いた後、市販のテープなどで保護シートをマットに固定して、マットを本体に挿入します。

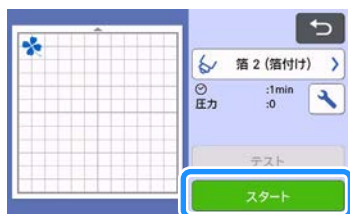
- ・箔は光沢が強い面を上にしてください。
- ・箔を載せるときは、しわが寄らないようにそっと載せてください。載せた後にこすると箔がやぶれるおそれがあります。
- ・箔に傷が付くため、必ず保護シートを使用してください。保護シートを置くときは、ゴミが入らないように置いてください。
- ・保護シートが浮いたままマットを挿入すると、本体が故障するおそれがあります。必ず市販のテープなどで保護シートをマットに固定してください。
- ・保護シートをカッティングマットの貼り付けエリアからはみ出さないように貼りつけてください。



- 15 のリペンホルダーをキャリッジから外し、のリペンを外します。のリペンホルダーの先端に箔押しツールをはめて、キャリッジにのリペンホルダーを差し込みます

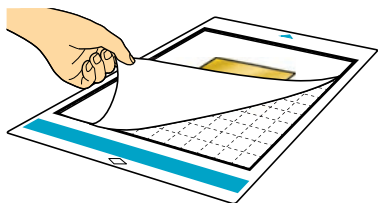
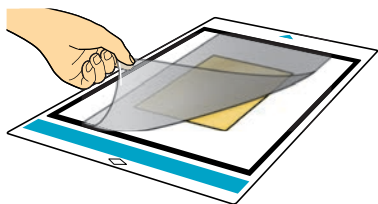


- 16 「スタート」キーを押して、箔付けします。

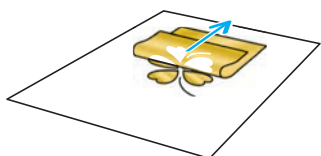


- 17 マットを排出して、保護シートを剥がしてから、素材をマットから丁寧に剥がしてください。

- ・ 箔が付いているかを確認しながら剥がしてください。
- ・ 箔がきれいについていない場合は、箔を最後まで剥がさずに元に戻して、再び保護シートを乗せてから硬いものでこすって箔をつけてください。

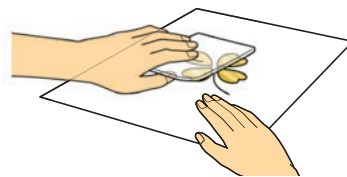


- 18 素材を水平な場所に置き箔を剥がします。剥がす際には素材に対して水平にゆっくりと剥がします。



- 19 箔の上からごみ取りシリコンシートで繰り返し押さえ、余分な箔を取り除きます。

- ・ ごみ取りシリコンシートで箔をこすらないでください。箔が傷つくおそれがあります。
- ・ ごみ取りシリコンシートは紛失しないように、ストレージシートに貼り付けて保管してください。



困った時は

- のり付け量が多すぎたり少なすぎたりした場合は、のり付け画面の  を押して「のり付け量調整」の値を調整してください。
- 線が太すぎる場合は「のり付け量調整」の値を小さくし、かすれる場合は大きくしてください。
- のり付け箇所の跡が目立つ場合や、箔の線が太すぎる場合は、「のり付け圧力」を弱くしてください。
- 箔が全く付いていない場合は、箔転写シートの裏表が逆になっているおそれがあります。
- 箔が付かないときは、箔付け画面の  を押して「箔付け圧力」の値を大きくしてください。